

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	チーム医療論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	木村 政義	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として35年病院勤務、血液浄化、人工心肺、集中治療、呼吸療法、手術室、安全管理等を経験。臨床工学部部長としてマネジメント、日本臨床工学技士会常任理事として臨床工学技士の資質向上に向けた取り組みを実践している。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士は、チーム医療に関する文言が最初に明記された資格である。臨床工学技士の業務毎に必要な、チーム医療について学び、チーム医療を支える医療人の一員となれる知識と技術を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート評価:70% 出席評価:20% 授業態度などの平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:「チーム医療」とは何か 第2版 患者・利用者本位のアプローチに向けて(日本看護協会出版会) 参考図書:人を動かす, D・カーネギー(創元社) 参考図書:アサーション入門——自分も相手も大切に自己表現法(講談社現代新書) 授業参考となるプリントを随時配布する。						
《授業外における学習方法》						
自身の体験を振り返るとともに、参考図書やインターネットを使用して情報を収集し、準備学習を行うこと						
《履修に当たっての留意点》						
チーム医療を実践するうえで必要な知識は、自身の間人力を向上させる知識と共通する。知識として記憶するだけでなく、自ら実践することを心がけること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	臨床工学技士の将来展望・課題・アイデンティティに触れる	プロジェクター	事前アンケート(グループフォーム)に回答すること	
		各コマに おける 授業予定	臨床工学技士の価値観とアイデンティティ			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	病院組織の特徴と病院経営(診療報酬)の仕組みを理解する	プロジェクター 配布プリント	病院における収入源は何かあるか調べてレポート提出	
		各コマに おける 授業予定	病院組織と医療経営			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	専門職とは何か、専門職に必要な倫理観について理解する	プロジェクター 配布プリント	日本臨床工学技士会の倫理綱領・集中治療に携わる臨床工学技士の倫理綱領、全文をレポート用紙に手書きして提出	
		各コマに おける 授業予定	専門職と倫理			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己研鑽と研究活動の必要性を理解する	プロジェクター 配布プリント	電子カルテを取り扱う上で必要な個人情報漏洩防止のための注意事項、研究発表で必要となるCOIとは何かについて調べてレポート提出	
		各コマに おける 授業予定	研究倫理と学会活動、専門認定資格			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	チーム医療とは何か、どのように実践されており問題点は何かを理解する	プロジェクター 配布プリント	チーム医療の4つの要素とは何か、それぞれの要素についての説明を記載してレポート提出	
		各コマに おける 授業予定	チーム医療の理論と実践			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 チーム医療を実践するうえで必要となるコミュニケーションスキルについて理解する	プロジェクター 配布プリント	アサーションとはどのようなことであるのか調べてレポート提出
	各コマにおける授業予定	チームコミュニケーション		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 チーム医療を円滑にするために人間関係をどのように構築していくべきなのか理解する	プロジェクター 配布プリント	あなたがコンフリクトを感じた例をあげ、どのようにしてコンフリクトの解消をはかったのか、レポートにまとめて提出
	各コマにおける授業予定	人間関係の構築		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 チーム医療では、論理的・科学的・客観的に情報を判断する必要があることを理解する	プロジェクター 配布プリント	第6回終了時に提示した課題についてレポートを提出する
	各コマにおける授業予定	論理的思考・科学的思考		